

管内農業情報（6～7月）

部門	報告内容	写真等	とき・ところ
			主体・対象（構成員数）
担い手	農村輝きネット会員が現地視察を開催 農村輝きネット愛知地区（日進・にじ色クラブ）は、起業した女性農業者の取組を学ぶために、海部地域への現地視察を開催した。 愛西市の「はす工房」ではレンコン料理を提供している渡辺みさ子氏に生活改善グループ活動から始まった「はす工房」運営の歩みを聞き取り、弥富市の「Ewalu」で米粉パン作りに取り組む八木淳子氏に、米加工品の開発と販売について聞き取った。 困難を伴うもののやりがいを感じさせる両名の姿勢を受けて会員からは「実際に挑戦してきた人たちの話が聞けて良かった」との感想があり、会員にとって有意義で貴重な視察となった。	 はす工房内で話を聞く会員たち	令和8年6月15日 愛西市、弥富市 日進生活改善実行グループ（12名） にじ色クラブ（9名）
	農村輝きネット会員が現地視察を開催 農村輝きネットグリーンママーズ（稲沢市・一宮市）は、6次産業化の取組を学ぶために、東栄町への視察研修会を開催した。 視察先の「そば処 茶禅ー」では経営主の尾林氏より、茶農家からそば屋立ち上げに至った経緯や運営の歩みの説明があった。 「とにかく考えて、実行に移した」という尾林氏の説明に対して会員からは「実際に挑戦してきた人の話が聞けて良かった」との感想があり、会員にとって有意義で貴重な視察となった。	 「そば処 茶禅ー」屋外席で話を聞く会員たち	令和8年7月13日 北設楽郡東栄町 グリーンママーズ（14名）
作物	名古屋市の有機栽培水田で自動抑草ロボット導入！ 名古屋市港区の水稲生産者は、名古屋市の学校給食用に有機米を約4ha栽培している。有機栽培では雑草防除が大きな課題となっており、多くの労力を要している。このため、今年から水田用自動抑草ロボットであるアイガモロボ2を導入した。有機栽培ほ場への移植は5月中旬に行われ、アイガモロボを5月下旬から稼働させている。今回、有機栽培の現地を確認し、情報交換を行った。農業改良普及課では、省力化に向けた雑草管理技術の改善のため、今後の稼働状況、雑草の発生状況など、効果を確認しながら最適な運用に向けた支援を行っていく。	 アイガモロボ2稼働状況	令和8年6月4日 名古屋市港区 名古屋市 水稲生産者（1法人）
野菜	J A 愛知北犬山東部じねんじょ部会が総会を開催 6月2日にJ A 愛知北羽黒支店で、犬山東部じねんじょ部会の総会が開催され、来賓としてJ A 役員、犬山市長、農業改良普及課が参加した。当部会では、労働力確保のためのサポーター制度の導入や加工品の販売（自然薯入りバスタソース等）なども行い、部会の活性化を図っている。昨年は、湿害の発生が少なく、収量・品質ともに良好であった。一方、部会の種芋を生産する地域増殖ほ場では、ハスモンヨトウによる食害で地上部が枯れあがり、大幅に種芋の収量が減少するという課題がみられた。これを受け、部会長は「農業改良普及課と連携して、防除計画を見直し、対策を実施していく」と意気込みを述べた。	 犬山市長の挨拶の様子	令和8年6月2日 J A 愛知北羽黒支店（犬山市） J A 愛知北犬山東部じねんじょ部会（34名）
	夏秋なすの目揃会を実施！ J A 愛知西夏秋なす部会は、7月6日に岐阜中央青果を招き、夏秋なすの目揃会を開催した。目揃会は品種ごとに実施され、長ナス品種「筑陽」を栽培する5名と、長卵形ナス品種「千両」を栽培する13名が参加した。今作から新たに2名が夏秋なす部会へ加わり、出荷規格を確認した。市場からは、光沢が良好で傷がなく、大きさがそろった果実が求められた。 農業改良普及課は、これまでに土壌診断結果に基づく勉強会や防除暦の作成等を行っており、今後も安定生産に向けた支援を継続していく。		令和8年7月6日 J A 愛知西 丹陽支店・萩原支店 J A 愛知西夏秋なす部会（18名）

部門	報告内容	写真等	とき・ところ
			主体・対象（構成員数）
花き	試験場研究員がＪＡあいち尾東花苗生産者を巡回 花苗の高温対策について、ＪＡあいち尾東豊明花苗生産組合担当者、農業総合試験場園芸研究部花き研究室の研究員及び普及課が、豊明花苗生産組合に所属している４戸の生産者を巡回し、意見交換を実施した。生産者は、栽培管理方法や遮光方法について説明、「遮熱資材の効果」や「光合成に必要な光量」など、普段思っていることを質問し、研究員が回答したことに対して、理解が深まった様子が伺えた。今後も、関係機関、本県試験場と普及課が連携を深め、現場の課題をよりスピーディーに解決できるよう支援していく。	 意見交換の様子	令和８年７月９日 豊明市 ＪＡあいち尾東 豊明花苗生産組合 （10名）
	サボテンの本場メキシコへ挑む～仙人掌茶（サボテン茶） 春日井市でサボテンの生産販売をしている（有）後藤サボテン代表取締役社長の後藤容充氏（農業経営士）が、ＪＩＣＡ主催のメキシコビジネス交流会で、来日しているメキシコ研修員やメキシコにビジネスチャンス进行待する日本企業に対して講演を行った。後藤氏は栽培している食用サボテン「ノバル」とほうじ茶のブレンドを豊田市の製茶園に委託し、「仙人掌茶」として販売している。将来はメキシコへの輸出や、来日する海外の富裕層にお土産として販売し、「人と人」「地域と地域」のcasガイ《春日井》となることが夢であると語られた。普及課は引き続き栽培技術及び6次産業化の支援を行う。	 仙人掌茶を手に持って講演する後藤氏	令和８年７月10日 ＪＩＣＡ中部センター ＪＩＣＡメキシコ研修員他 （約35名）
花き	豊明花苗生産組合野菜苗部の講習会を開催 ＪＡあいち尾東豊明花苗生産組合野菜苗部に加入している後継者や新規参入者等の若手組合員から、栽培技術に関する意見交換を実施したいと要望があり、同部会主催の講習会を開催することになった。始めに、普及課が作成指導した農業一覧表や栽培暦の資料をもとに、組合員に説明を行った。その後、組合員とＪＡ担当者、普及課の三者で野菜苗の栽培管理方法等の意見交換を行った。若手組合員のかん水方法では、生育状況に差が出ることが課題となっているため、生産技術力の高い組合員が若手組合員にかん水方法のアドバイスを行った。改めて、かん水の重要性を認識してもらう良い機会となった。	 講習会の様子	令和８年７月13日 豊明市 ＪＡあいち尾東 豊明花苗生産組合野菜苗部 （６名）
果樹	愛知県育成イチジク新品種「みどりの雫」の苗木を生産 稲沢市の「（農）グリーンステーション和樹」は、愛知県で育成したイチジク新品種「みどりの雫」の苗木生産を始めた。自動かん水装置を用いて、ポット苗で約1,200本を育苗管理している。イチジク種苗の安定供給は、令和８年度から始動した「園芸生産力強化プロジェクト」の取り組みテーマであり、本県園芸産地の生産力強化のため早急に対応すべき課題として位置づけられている。農業改良普及課では、高品質苗木生産に向けて、引き続き支援を行っていく。	 ほ場の様子	令和８年６月22日 稲沢市 （農）グリーンステーション 和樹
	犬山市もも品評会を開催 第43回犬山市もも品評会がイオン扶桑店で開催された。出品点数は15点。農業改良普及課は審査員として参加し、犬山市、ＪＡ愛知北、イオンとともに外観と糖度審査を行い、愛知県知事賞を始めとした6つの賞の受賞者を決定した。全体の平均糖度は13.3度、最高糖度は20.3度となり、高い数値となった。受賞した上位6点のモモは、平均糖度が17.4度であり、外観の形状や色・大きさの揃いもよく、品質の高いものであった。品評会後には即売会が開催され、出品されたモモが抽選販売された。多くの消費者が集まり、盛況であった。	 受賞したモモ	令和８年７月11日 イオン扶桑店 犬山市桃生産者連絡協議会 （42戸）
地域	産直部会が農作業安全研修会を開催～対策の重要性を認識～ ＪＡ西春日井産直部会は総会にあわせて、農作業安全研修会を実施した。農業改良普及課が講師を務め、熱中症による死亡事故が増えていることや、愛知県内で発生した事故は転倒・転落によるものが最も多く、脚立や歩行用トラクターなど日頃の作業にある危険性やその対策について、写真などの啓発資料を用いて説明をした。受講者からは身近にありがちな要因で、想像以上のケガとなった事例を見ながら、悲愴な声も聞かれた。部会では暑さ対策帽子を配付するなど、熱中症への予防も呼びかけている。	 研修会の様子	令和８年６月17日 ＪＡ西春日井西春支店 （北名古屋市） ＪＡ西春日井産直部会 （40名）